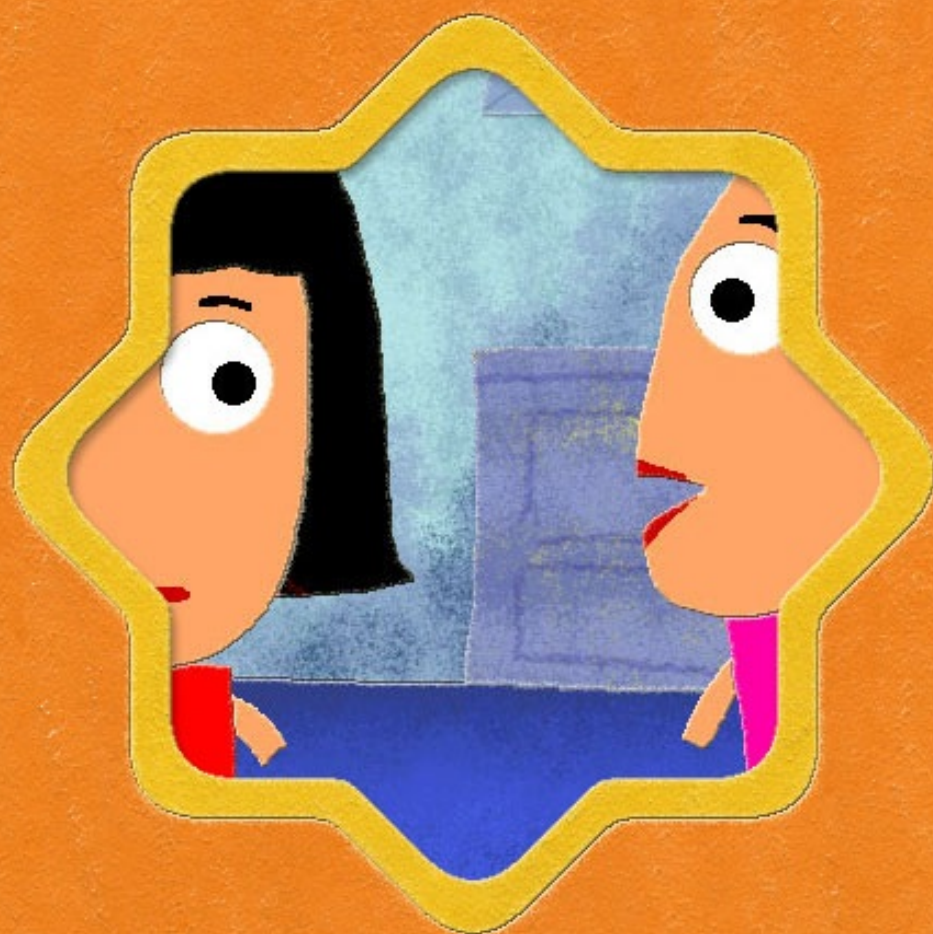


# 茜町春彦

日本文学英訳化計画

金子文子

何が“私をこうさせたか  
父よ、さらば”



日本文学英訳化計画

## 『金子文子（何が私をこうさせたか）：父よ、さらば』

翻訳・作画：茜町春彦

原作：金子文子

概要：金子文子の手記のなかの1編を翻訳し、絵本にしました。

A Project for English Translation of Japanese Literature

**Title : "Farewell to my Father"**

Translated and illustrated by : Akanemachi Haruhiko

Original author : Kaneko Fumiko



"If you leave this home now, our relatives will think that I picked on you and threw out you. Please have a bit of patience for a while", my aunt said.

She stopped me as if she asked me.

「お前に今うちを出られては、いかにもワシが苛め出しでもしたように親類たちから思われるからもう少し辛抱していておくれ」と、叔母は頼むように私を引き止めた。



But I couldn't stand it anymore.

I decided to move to the capital Tokyo. I determined that I would work and learn at Tokyo.

けれど私はもう我慢ができなかった。

私は東京に出る決心をした。東京に出て苦学することにきめた。



But, it was necessary to make preparations for that purpose.

I will be busy for a while after I move to Tokyo. Meanwhile, I will be unable to care about clothes.

I thought so. And then, I did the washing diligently and did some mending. I was waiting for a suitable time.

ただしかし、そうするにはそうするだけの準備が必要だった。

東京に出てから当分の間は何もできないだろう。その間、衣類のことなんかには構ってられないだろう。そう考えて私は、せっせと洗濯をしたり、縫い直しものをしたりして、時を待った。



When a newspaper was delivered, I read job information first of all. Moreover, I cut out advertisements of students for English or Math school and I tucked them away in my portmanteau.

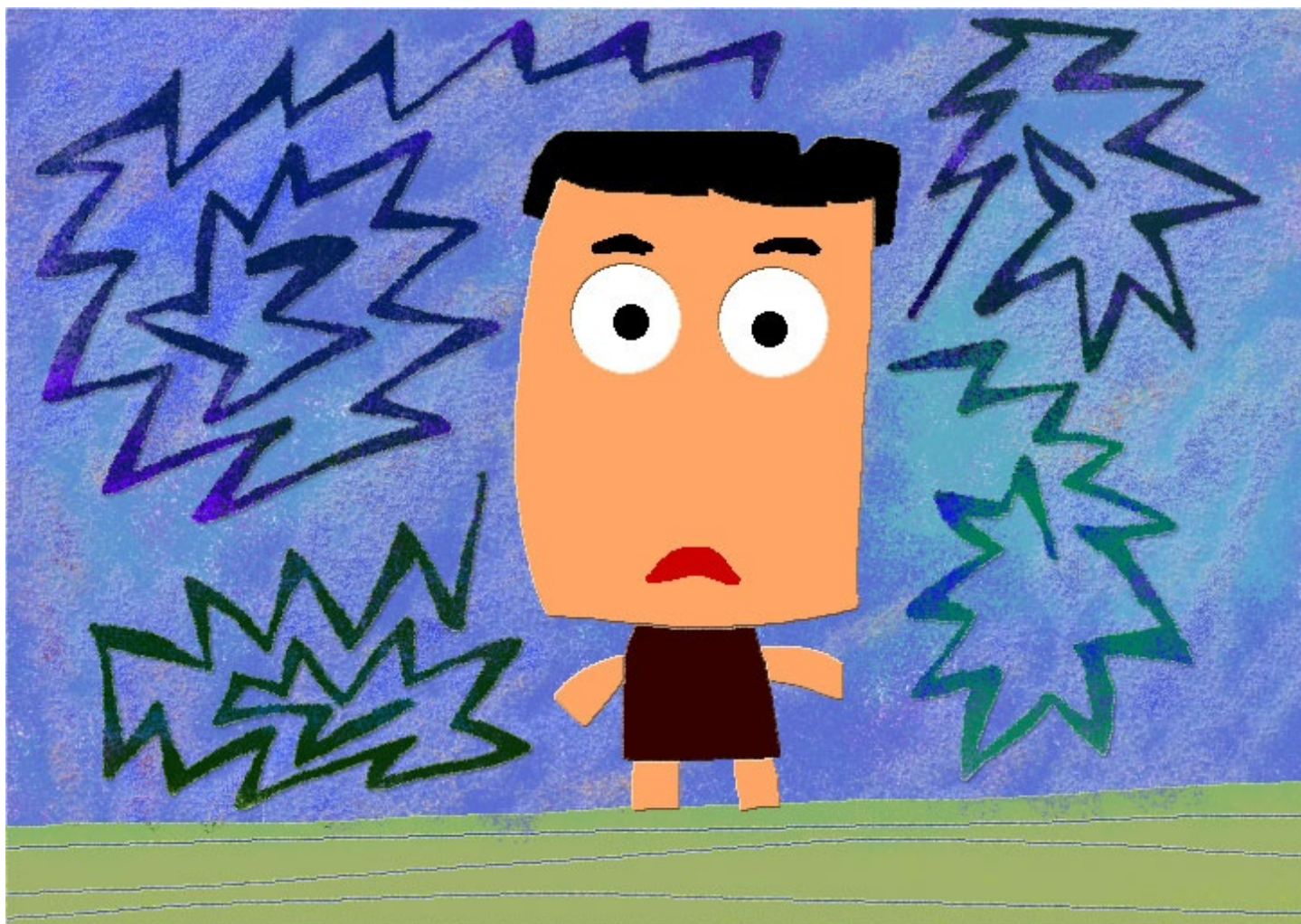
But even so, what can I do in Tokyo?

Who can I depend on?

I had no idea about such things.

新聞が来ると何よりもさきに職業案内のところをみたり、英語や数学の学校の生徒募集の広告を切り抜いては行李の中にしまい込んだりもした。

だが、それにしても私は、東京に出てどうすることができようか。どこに誰を頼って行こうとするのであるか。そんなことについて、私は皆目見当がつかなかった。



My father's passion had calmed down. And so, he didn't hate me as much as he did at that time.

But he didn't even have the slightest consideration for me of his own free will. Even if he had it, he would be unable to do anything for me.

激情の過ぎ去った後の父は、無論その時ほどには私を憎みはしなかった。けれど、自ら進んでどうしてやろうというような親切は爪の垢ほども持ち合さなかった。たといあったとしても、父にはそれをどうすることもできなかったであろう。



I was deep in thought, but I couldn't make any plan. I realized that I had no choice but to go for broke.

Anything OK!

Anyway, try!

After I move to Tokyo, I will make everything fine somehow!

Like this, I made up my mind.

いつまで考えていても、どうするという計画は立たなかった。私はもう、当たって砕けるよりほかに途がないと思った。何でもいい、ただ行って見よう。行ってどうかしよう。こう私は腹をきめた。





I finally decided that I would leave the next day.

On the previous day, I said flatly to my father. I never talked to him.

I declared, "I am going to go to Tokyo tomorrow!"

My father and my aunt didn't stop me anymore.

そして、いよいよ明日行こうときめた前の日、私は父にきっぱりと言った。相談したのではない  
宣言したのだ。「明日、東京へ行きます」と。  
父も叔母も今はもう私を止めなかった。

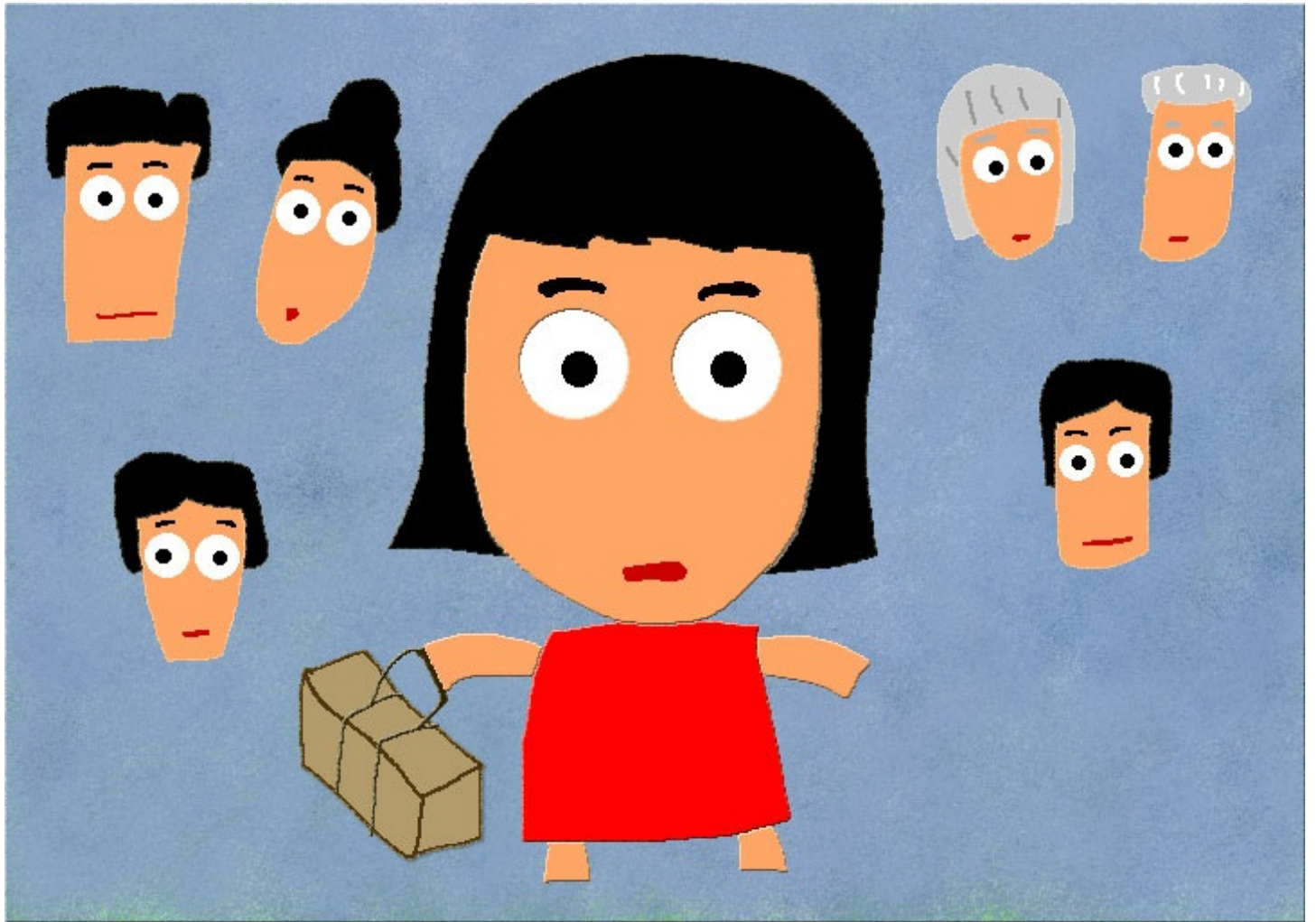


In the next morning, I left my father's home alone.

I had about 10 cents including the train fare in my pocket. I didn't have a desk or a bed. My father didn't even give me a single umbrella. I had to guard myself against rain, wind, coldness and everything that would attack on me.

But I had nothing to worry about. My body was filled with mental and physical tensions.

私はその翌朝、ひとり父の家を出た。私の懐中には汽車賃ともでやっと十円ほどがあった。一脚の机もなければ、一枚の布団もない。一本の雨傘さえ父は私のために用意してくれなかった。やがて自分の上に襲うて来る雨をも風をも寒さをも、すべて私は自分の身をもって防がねばならなかった。しかし私は恐れなかった。私の肉体にはハチキレル緊張があった。



I longed for a lifestyle fitting for me. I believed that the lifestyle existed somewhere. So, I left my false home. It was the spring when I was 17 years old.

Farewell to my Father, my Aunt, my Brother, my Grandmother, my Grandfather and my Uncle!

Farewell to all who are my present relatives!

The time has come for our farewell.

自分にしっかりと合った生活を求めて、どこかにそうした生活があると信じて、私は私の偽りの家を捨てた。私の十七の春だった。

さらば父よ、叔母よ、弟よ、祖母よ、祖父よ、叔父よ、今までの関係に置かれた一切のものよさらば、さらば、今こそ私たちのわかる時が来たのだ。

《了》

## 後書き

---

金子文子について：

1926年に没しました。

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 何が私をこうさせたか一獄中手記：2017年12月15日第1刷発行 金子文子著 岩波文庫
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited
- Longman Study Dictionary of American English: Second edition 2011 Pearson Education Limited

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2018年1月24日発行

日本文学英訳化計画『金子文子（何が私をこうさせたか）：父よ、さらば』

<http://p.booklog.jp/book/119884>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/119884>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト